

持続的な 食料生産のための 水産養殖の 現状と動向



入場無料

講演概要

瀬戸内海を始めとした美しい海に囲まれた日本は、当たり前のように美味しい魚を獲り、美味しく食べてきました。しかし、近頃の海洋環境や世界情勢の変化から、生産現場は大きく揺らぎ、安定的な生産が困難な状況が続いています。

日本や世界の水産養殖はどう変わっていくべきなのか、魚食文化を未来に引き継いでいくために何ができるのか、愛媛の小さなベンチャー企業の模索をご紹介します。

講演題目

日本人は魚を食べ続けることができるか。

— 水産養殖を取り巻く環境の変化と、私たちの模索 —

開催日時

2024年 **2月18日** 日
14:00～15:20 (開場 13:30)

場所

リーガロイヤルホテル広島 3F
瀬戸の間 (定員 約100名)
広島市中区基町6番78号

申込方法

ホームページよりお申し込みください。↓
<https://www.heeic.jp/symposium>

締切:2月17日(土)17時まで。
定員になり次第締め切ります。

【個人情報の取り扱いについて】

- 個人情報保護法に基づき、お預かりした個人情報は、上記以外の目的には使用いたしません。
- 講演日から2ヶ月の経過を目的に、収集した個人情報は速やかに破棄します。



先着順

講師

井戸 篤史氏

愛媛大学大学院農学研究科 客員准教授 博士(学術)
株式会社 愛南リベラシオ 代表取締役

大阪大学大学院理学研究科修了後、民間企業の開発職を経て、弁理士資格を取得し、2009年より現在まで、愛媛大学において水産養殖分野での研究開発や研究成果の事業化を手掛ける。2012年に大学発ベンチャー企業である株式会社愛南リベラシオを設立。水産養殖のために何ができるかを考えながら、日本各地の養殖現場を巡る。

